

2023年12月4日月曜朝会「師走」「世界人権デー」

皆さん、おはようございます。

インフルエンザで、学級閉鎖のクラスがあります。また、今日は欠席の多いクラスがありオンライン形式で朝会に参加しているお友だちもいます。

気温が下がり、空気も乾燥してきているので感染しやすい状況にあります。うがいやマスクなどで予防に努めてくださいね。

さて、今年もいよいよ最後の月、12月となりました。学校の一年の終わりは3月ですが、世の中は12月をもって、一年の締めくくりとしています。そして1月1日を新しい年の始まりとして迎えているのですね。

12月を旧暦では「しわす」と呼ぶのは皆さん知っていますね。漢字で書くと「師」が「走る」と書きます。昔の日本では、12月の年末になると師にあたるお寺のお坊さんに家に来てもらって経をあげてもらっていたので、お坊さんのあちらの家、こちらの家と忙しく走り回る姿を見て、「師走」と言ったとか。この説は平安時代からの習慣を言ったもののようなのですね。



その他にも、色々な説があり、一年の最後にそれまで取り組んでいたものを終わらせるという意味の「終果たす」が変化し「仕果たす」「しはす」そして「しわす」になったなど言われています。また今では、学校の先生が年末に忙しくしていることを指したりするなど諸説ありますから、調べてみると面白いですね。

さて、今日12月4日から10日まで、世界人権週間が始まりました。これは、1948年12月10日の国際連合第3回総会において、すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が選ばれたことからスタートしています。

世界人権宣言は、すべての人の人権を尊重し守ることを目標と定めた画期的なもので、12月10日を「人権デー（Human Right Day）」と定めています。この人権デーを最終日とする一週間（12月4日～12月10日）を「人権週間」と定め、毎年各機関及び団体とも協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。



現代の社会の中である、「いじめ」や「虐待」、「性被害」等の子どもの人権、インターネット上の「人権侵害」、障害のある人や外国人、性的マイノリティーなどに対する「偏見や差別」といった多様な人権問題を無くしていこうという重要な目標のもと、日本全国でも様々な呼びかけや催しが行われていきます。これらの問題の解決には、私たち一人ひとりが様々な人権問題を自分以外の「誰かのこと」ではなく、自分のこととして捉え、お互いの人権を尊重し合うことの大切さについて認識を深めることが大切なのです。

今年令和5年も、12月4日からの一週間を「第75回人権週間」と定め、様々なメディアを活用して、全国各地で集中的に人権啓発活動を行います。

東京都では、東京で働き、暮らす誰もが共に交流し、支え合う共生社会の実現に向けて人権週間キャンペーンを実施しています。

今年行われた取り組みには、5・7・5の言葉で表現する「都民の人権川柳」が5つのテーマごとに募集されました。その中で入賞した作品を紹介したいと思います。

最優秀賞：テーマ「身のまわりの人権」

・「当たり前」 だれにとっての 「当たり前」？

特別賞：テーマ「世界中に笑顔があふれるように」

・スマイルは 何マイルでも 越え届く

優秀賞：テーマ「世界中に笑顔があふれるように」

・認め合う 笑顔が世界の 共通語

：テーマ「困っている人を見かけたら」

・その親切 人も自分も 救われる

：テーマ「インターネットを正しく使うために」

・一言に 覚悟を持って 投稿を

：テーマ「一人ひとりの個性を大切にしよう」

・多様性 ひとりひとりが オリジナル

：テーマ「身のまわりの人権」

・冗談で 言った言葉が 深い傷

今年、都市大っ子ベーシックに絡めて、多様性や認め合うということをテーマに皆さんに話をしてきました。



今日からの人権デーについても、皆さん一人ひとりがきちんと考え、自分の行動を見直し、今まで以上に良い人間関係が作られることを期待しています。

常に「いじめ」や「嫌がらせ」、「暴力」の無い明るく楽しい学校にしていきたいと思います。